



～あんず通信では、感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

## 【感染症だより】

### ～流行中の感染症について～

12月も引き続き感染性胃腸炎が流行しています。感染性胃腸炎では、嘔吐、下痢、食欲低下、哺乳低下などの症状がみられますが、白い便、白っぽい便が出ることがしばしばあります。形のある便であっても、白っぽい便が出ているときはウイルスに感染している可能性があります。

### ～新型コロナウイルス・インフルエンザについて～

年が明けていよいよ冬本番となり、インフルエンザも増えてきました。現在流行している型はインフルエンザA型です。この3年間インフルエンザなどがほとんど流行しませんでした。この冬はコロナ前のように色々の感染症がみられています。

新型コロナウイルスは現在8波ですが、東京では1月11日に実行再生産数が1.09でピークとなった後は低下してきています。日本にける流行のウイルス型を見てみると、オミクロン株の亜型、BF.7、BA.5.2、BA.5.2.1、BA.5.1、BQ.1.1、BA.5.2.6、BF.7.4.1、BF.5、その他など多岐に渡っています。現時点ではこれらのオミクロン株の重症化率死亡率は季節性インフルエンザよりも低くなっていますが、感染力は強いためすぐに流行が拡大します。コロナウイルスは約2週間に1回のペースでどんどん変異していくので、新しいワクチンが出来ても実際に接種をする頃には型が変わってしまっています。

### ～新型コロナワクチンについて～

厚労省のアドバイザリーボードによれば、子供へのワクチンは基礎疾患のある患児への重症化予防効果は強く期待できる一方で、これ単独で流行が阻止できるだけの感染予防効果はないため、有害事象への心配をぬぐい切れない当事者に努力義務を課して接種するだけの説得力はない、とされています。このような状況を受けて、全国1788市町村の中では、子供への接種券を一齐送付せずに希望者のみに送付する自治体もあります。5～11歳のワクチンに対しては88自治体、6か月～4歳に対しては363自治体が希望者のみに接種券送付を行っています。

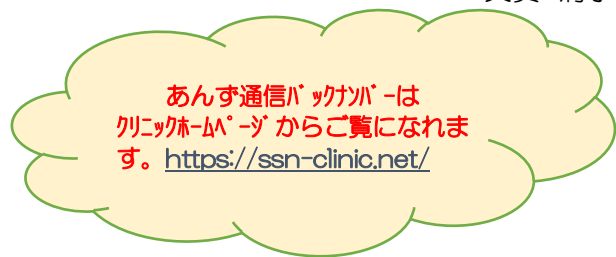
### ～新型コロナワクチンの副反応について～

12月16日に厚労省から発表された国内の接種後副反応報告では、因果関係不明ですが接種後死亡数が累計1919名、重篤副反応は26,363名でした。これらの情報は厚労省のホームページからどなたでも閲覧することができます。

表1：12月しみず小児科・内科クリニックで診断された流行性の感染症

文責：清水マリ子

	感染症	患者数
1	胃腸炎(10/14 年/1 含む)	198
2	新型コロナウイルス	12
3	インフルエンザ A	9
4	突発性発疹	6
5	溶連菌	4
6	水ぼうそう	2
7	RSウイルス	1
7	とびひ(伝染性膿痂疹)	1



### ～あんずからのお知らせとお願い～

- ★**空き状況**を Web で確認出来るようになっていきます。しみず小児科・内科クリニックのホームページから確認出来ます。ご予約は必ずお電話でお願い致します。
- ★**キャンセル**をされる場合は、**留守番電話で構いませんので当日8：30までに必ずご連絡**をお願い致します。利用ご希望の方が1人でも多く入れるようご協力をお願い致します。

### ★病児保育室あんずでの新型コロナ対策★

病児保育室内では、マスク、手洗い、消毒、換気など定期的に行っています。また、出来る限り隔離室を利用し、子ども同士が同じ部屋にならないよう配慮しております。ご予約の際には、感染予防のために新型コロナウイルス感染者との接触歴や流行地に行っていないか等お聞きしております。ご協力のほど宜しくお願い致します。

